令和４年度　　数学科　　３年　　年間指導計画・評価計画

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点 知	思	態	評価規準 評価方法
	4月	8	１章　文字式を使って説明しよう １節　多項式の計算 ①多項式と単項式の乗除 ②多項式の乗法 ③乗法公式 基本の問題	【目標】 ・単項式と多項式の乗法や多項式を単項式でわる除法の計算ができる。 ・式を展開することの意味を理解し，多項式どうしの積を展開できる。 ・乗法公式を利用して，いろいろな式をくふうして展開できる。 【内容】 ・単項式と多項式の乗法の計算をする。 ・多項式を単項式でわる除法の計算をする。 ・乗法公式を利用して，式を展開する。 ・式の一部を１つの文字におきかえて，式を展開する。 ・式の展開と加法，減法を組み合わせた式の計算をする。	 ● ● ● ● ●	 ● ● ●	 ● ● ● ● ●	【知】 ○単項式と多項式の乗法の計算方法を理解し,計算することができる。 ○多項式を単項式でわる除法の計算方法を理解し，計算することができる。 ○乗法公式を利用して，いろいろな式をくふうして展開できる。 【思】 ○多項式と多項式の乗法を，面積図を用いたり，1つの多項式を文字におきかえたりして考え，説明することができる。 ○乗法公式を利用するために，式の一部を1つの文字におきかえる方法を考え，説明することができる。 【態】 ○式を展開することの必要性と意味を考えようとしている。 ○式の展開について学んだことを学習に生かそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
	5月	6	２節　長方形の縦と横の長さは？ ①　因数分解 ②　公式を利用する因数分解	【目標】 ・式を因数分解することの意味を理解し，共通な因数をくくり出して，式を因数分解できる。 ・因数分解の公式を利用して，いろいろな式をくふうして因数分解できる。 【内容】 ・式の因数，式を因数分解することの意味を知る。 ・共通な因数をくくり出して，式を因数分解する。 ・共通因数をくくり出してから，式を因数分解する。 ・公式を利用して因数分解をする。 ・式の一部を１つの文字におきかえて，式を因数分解する。 ・公式を応用して因数分解する。	 ● ● ● ● ● ●	 ● ●	 ● ● ● ● ● ●	【知】 ○式の因数，式を因数分解することの意味を理解し,共通な因数をくくり出して，式を因数分解できる。 ○因数分解の公式を利用して，いろいろな式をくふうして因数分解できる。 【思】 ○因数分解の公式を利用するために，式の一部を１つの文字におきかえる方法を考え，説明することができる。 【態】 ○式を因数分解することの必要性や意味を考えようとしている。 ○式の因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		4	3節　式の計算の利用 速算のしくみを探ろう ①　式の計算の利用	【目標】 ・乗法公式や因数分解の公式を利用して，数の計算の結果や式の値をくふうして求めることができる。 ・数の性質が成り立つことを，文字を使って証明することができる。 ・図形の性質が成り立つことを，文字式とその計算を利用して証明することができる。 【内容】 ・展開や因数分解を利用して，数の計算の結果や式の値をくふうして求める。	 ●	 ●	 ●	【知】 ○文字を使って数量を表したり，目的に応じて式を変形したりすることができる。 【思】 ○速算の方法が正しいことを，文字を使って証明することができる。 【態】 ○式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		1	章の問題Ａ （教科書p. 38）					

1学期		－						
		6	2章　数の世界をさらにひろげよう １節　平方根 いろいろな面積の正方形をかいてみよう ①　平方根 基本の問題 （教科書p. 50）	【目標】 ・平方根の意味を理解し，ある数の平方根を求めることができる。 ・平方根の大小関係を理解し，平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 ・有理数，無理数の意味を理解し，これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。 【内容】 ・2乗して2になる数の近似値を求める。 ・正方形の1辺の長さを比べて，平方根の大小を調べる。 ・平方根の大小を，不等号を使って表す。 ・これまで学んだ数を振り返って，有理数と無理数に分類する。			●	【知】 ○平方根の意味を理解し，ある数の平方根を求めることができる。 ○平方根の大小関係を理解し，平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 ○有理数，無理数の意味を理解し，平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。 【思】 ○2つの正方形の面積と1辺の長さの関係をもとに，平方根の大小を考え，説明することができる。 【態】 ○数の平方根の必要性と意味を考えようとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
	6月	8	２　根号をふくむ式の計算 新しい数の世界の計算を考えよう １　根号をふくむ式の乗除 ２　根号をふくむ式の加減 ３　根号をふくむ式のいろいろな計算 基本の問題	【目標】 ・根号をふくむ式の乗法や除法、加法や減法の計算方法を理解する。 ・根号のついた数を変形することができる。また，根号のついた数を変形して，近似値を求めることができる。 ・分母を有理化することの意味を理解し，ある数の分母を有理化することができる。 ・根号をふくむ式の乗法や除法、加法や減法の計算ができる。 【内容】 ・分母を有理化することの意味を知る。 ・ある数の分母を有理化する。 ・根号をふくむ式の乗法や除法、加法や減法を，くふうして計算する。	●	●	●	【知】 ○根号をふくむ式の乗法や除法、加法や減法の計算方法を理解している。 ○根号のついた数を変形することができる。 ○根号のついた数を変形して，近似値を求めることができる。 ○分母を有理化することの意味を理解し，ある数の分母を有理化することができる。 ○分配法則や乗法公式を利用して，根号をふくむ式を計算できる。 ○根号をふくむ式の計算を使って，式の値を求めることができる。 【思】 ○根号を含む数の計算の原理を近似値や面積図を用いて考え，説明することができる。 【態】 ○根号をふくむ式の乗法や除法、加法や減法の計算方法を考えようとしている。 ○既習の計算法則などを，根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		1	３節　平方根の利用 コピー用紙はどんな長方形？	【目標】 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 【内容】 ・B5判のコピー用紙の，短い辺と長い辺の長さの比を，紙を折ったり，図をかいたりして考える。	●	●	●	【知】 ○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり，処理したりすることができる。 【思】 ○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 【態】 ○数の平方根について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		－	章の問題Ａ					
		10	3章　方程式を利用して問題を解決しよ	【目標】 ・2次方程式とその解の意味を理解する。				【知】 ○2次方程式とその解の意味を

7月		う ［２次方程式］ １節　２次方程式とその解き方 ロープで囲んだ長方形の面積は？ ①　２次方程式とその解 ②　平方根の考えを使った解き方 ③　２次方程式の解の公式 ④　因数分解を使った解き方 ⑤　いろいろな２次方程式 基本の問題 （教科書p. 84）	平方根の考えを使って，2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解の公式の意味を理解する。 ・解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ・因数分解を使って2次方程式を解くことができる。 ・いろいろな2次方程式を，適当な方法で解くことができる。 【内容】 ・2次方程式の意味を知る。 ・2次方程式の解と2次方程式を解くことの意味を知る。 ・平方根の考えを使って2次方程式を解く。 ・解の公式を使って2次方程式を解く。 ・因数分解の考えをもとにして，2次方程式の解き方を考える。 ・因数分解を使って2次方程式を解く。 ・$x^2=4x$の解き方の誤りを指摘し，正しい解を求める。 ・2次方程式の解き方を振り返って，どの方法で解いても解は同じになることを確認する。 ・いろいろな2次方程式を，適当な方法で解く。	● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ●	理解している。 ○平方根の考えを使って，2次方程式を解くことができる。 ○2次方程式の解の公式の意味を理解し，解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ○因数分解を使って2次方程式を解くことができる。 ○いろいろな2次方程式を，適当な方法で解くことができる。 【思】 ○平方根の考えをもとにして，2次方程式の解き方を考え，説明することができる。 ○因数分解の考えをもとにして，2次方程式の解き方を考え，説明することができる。 ○2次方程式の式の形や係数に着目して，それぞれに適した解き方を考え，説明することができる。 【態】 ○平方根の考えをもとにして，2次方程式の解き方を考えようとしている。 ○因数分解の考えをもとにして，2次方程式の解き方を考えようとしている。 ○2次方程式の解き方を振り返って，よりよい方法で解こうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
8月	4	２節　２次方程式の利用 畑に通路をつくろう ①　２次方程式の利用	【目標】 ・数や図形に関する問題を，2次方程式を利用して解決することができる。 ・図形の動点に関する問題を，2次方程式を利用して解決することができる。 【内容】 ・数や図形に関する問題を，2次方程式を利用して解決する。 ・図形の動点に関する問題を，2次方程式を利用して解決する。	● ●	● ●	● ●	【知】 ○2次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 ○具体的な問題の中から数量の間の関係を見いだし，2次方程式をつくることができる。 【思】 ○具体的な問題の解決に2次方程式を活用し，解が適切であるかどうかを判断することができる。 【態】 ○2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	1 –	章の問題A					★問題集・小テスト・定期考査
	3	4章　関数の世界をひろげよう １節　関数y＝ax2 ジェットコースターの進むようすは？ ①　関数y＝ax2 （教科書p. 96～98）	【目標】 ・関数y＝ax2の意味を理解し，　y＝ax2の式に表すことができる。 【内容】 ・yをxの式で表して，yはxの2乗に比例するかどうかを調べる。 ・1組のx，yの値の組から，y＝ax2の式を求める。	● ●	● ●	● ●	【知】 ○関数y＝ax2の意味を理解している。 ○関数y＝ax2の関係を式に表すことができる。 【思】 ○具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を，表やグラフを用いて調べ，その特徴を説明することができる。 【態】 ○関数 y＝ax2の必要性と意味を考えようとしている。

	9月	8	2節　関数y=ax^2の性質と調べ方 ①関数y＝ax^2のグラフ ②関数y＝ax^2の値の変化 基本の問題 数学のまど	【目標】 ・関数y＝ax^2のグラフの特徴を理解する。 ・関数y＝ax^2の変化の割合を求めることができる。 ・関数y＝ax^2で，xの変域に対応するyの変域を求めることができる。 【内容】 ・関数y＝ax^2のグラフについて，aの値をいろいろにとって，その特徴を調べる。 ・関数y＝ax^2のグラフの特徴をまとめる。 ・関数y＝ax^2の変化の割合を求める。 ・関数y＝ax^2で，xの変域に対応するyの変域を求める。 ・関数y＝ax^2と関数y＝ax＋bの特徴を，振り返ってまとめる。	● ● ● ● ●	●	● ● ● ● ●	【知】 ○関数y＝ax^2のグラフの特徴を理解している。 ○関数y＝ax^2の変化の割合を求めることができる。 ○関数y＝ax^2の変化の割合は，グラフ上の2点を通る直線の傾きを表していることを理解している。 ○関数y＝ax^2で，xの変域に対応するyの変域を求めることができる。 ○関数y＝ax^2と関数y＝ax＋bの特徴を，対比させて理解している。 【思】 ○関数y＝ax^2の変化の割合を，1次関数の変化の割合と対比させて考え，説明することができる。 ○具体的な事象において，関数y＝ax^2の変化の割合の意味を考え，説明することができる。 【態】 ○関数y＝ax^2の値の変化の特徴を捉えようとしている ★問題集・小テスト・定期考査
		5	３節 いろいろな関数の利用 深い学びのページ ①関数y＝ax2の利用 数学のまど ②いろいろな関数	【目標】 ・放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。 ・いろいろな事象の中から関数関係を見いだし，その変化や対応の特徴を捉え，説明することができる。 【内容】 ・放物線と直線2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求める。 ・いろいろな事象の中から関数関係を見つけ，その変化や対応の様子を調べる。	● ●	● ●	● ●	【知】 ○放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。 ○いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。 【思】 ○放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式の求め方を考え，説明することができる。 ○いろいろな事象の中から関数関係を見いだし，その変化や対応の特徴を捉え，説明することができる。 【態】 ○関数 y＝ax2について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○関数 y＝ax2を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		-	学びをひろげよう					
		1	章の問題A					
		-	章の問題B					

2学期	10月	9	５章　形に着目して図形の性質を調べよう［相似な図形］ １節　相似な図形 ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③相似の利用 基本の問題	【目標】 ・平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。また，相似比の意味を理解し，相似比を求めることができる。 ・相似な図形の辺の長さを，対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。 ・三角形の相似条件を理解する。 ・三角形の相似条件を利用して，2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。 ・三角形の相似条件を利用して，図形の性質を証明することができる。 【内容】 ・相似な図形の辺の長さを，対応する辺の比が等しいことを使って求める。 ・相似な図形の辺の長さを，となり合う辺の比が等しいことを使って求める。 ・2つの三角形が相似かどうかを，三角形の相似条件を使って判断する。 ・三角形の相似条件を利用して，図形の性質を証明する。	 ● ● ● ●	 ● ●	 ● ● ● ●	【知】 ○三角形の相似条件を理解している。 ○三角形の相似条件を利用して，2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。 【思】 ○三角形の相似条件を，三角形の合同条件をもとにして考え，説明することができる。 ○三角形の相似条件を利用して，図形の性質を証明することができる。 【態】 ○三角形の相似条件の意味を考えようとしている。 ○三角形の相似条件を学習に生かそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
		8	２節　平行線と比 ①三角形と比 深い学びのページ ②平行線と比 数学のまど 基本の問題	【目標】 ・三角形と比の定理を証明し，それを利用して線分の長さを求めることができる。 ・三角形と比の定理の逆を証明し，それを利用して2つの線分が平行かどうかを判断することができる。 ・中点連結定理を見いだし，それを利用して線分の長さを求めることができる。また、図形の性質を証明することができる。 ・平行線と比の定理を見いだし，それを利用して線分の長さを求めることができる。 【内容】 ・三角形と比の定理と、その逆が成り立つことを証明する。 ・三角形と比の定理と、その逆を確認する。 ・三角形と比の定理と、その逆を利用して，2つの線分が平行かどうかを判断する。 ・三角形の各辺の中点を結んでできた線分には，どんな性質があるかを調べる。 ・中点連結定理を確認する。 ・中点連結定理を利用して，線分の長さを求める。 ・平行線に直線が交わるときの線分の長さの求め方を考え，説明する。 ・平行線と比の定理を確認する。 ・平行線と比の定理を利用して，線分の長さを求める。 ・平行線と比の定理を利用して，図形の性質を証明する。	 ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ● ● ● ●	【知】 ○三角形と比の定理の逆を利用して，2つの線分が平行かどうかを判断することができる。 ○中点連結定理を利用して，線分の長さを求めることができる。 ○平行線と比の定理を利用して，線分の長さを求めることができる 【思】 ○三角形と比の定理の逆を証明することができる。 ○中点連結定理を利用して，図形の性質を証明することができる。 ○平行線と比の定理を利用して，図形の性質を証明することができる。 【態】 ○図形の相似について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ○平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査

		5	３節　相似な図形の面積と体積 ①相似な図形の相似比と面積比 ②相似な立体の表面積の比や体積比 基本の問題	【目標】 ・相似な三角形について，相似比と面積比の関係を見いだすことができる。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係を利用して，図形の面積を求めることができる。 ・立体の相似の意味を理解し，相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を見いだすことができる。 ・相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を利用して，立体の表面積や体積を求めることができる。 【内容】 ・相似な三角形について，相似比と面積比の関係を調べる。 ・相似な平面図形の相似比と面積の関係を利用して，具体的な問題を解決する。 ・立体の相似の意味を知る。 ・相似な立体で，相似比と表面積の比や体積比の関係について調べる。 ・相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を確認する。 ・相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を利用して，具体的な問題を解決する。	 ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ●	【知】 ○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を理解している。 ○立体の相似の意味及び相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を理解している。 【思】 ○相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を見いだし，説明することができる。 ○身のまわりにあるものを立体とみなして，相似な立体の相似比と体積比の関係を利用して問題を解決することができる。 【態】 ○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を考えようとしている。 ○相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を考えようとしている。 ○相似な立体の相似比と体積比の関係を生活に生かそうとしている。
１ １ 月	1 -	章の問題A 章の問題B						★問題集・小テスト・定期考査
		6	６章　円の性質を見つけて証明しよう［円］ １節　円周角の定理 ①円周角の定理 数学のまど ②円周角の定理の逆 基本の問題	【目標】 ・円周角と中心角の関係の意味を理解し，それが証明できることを知る。 ・円周角と弧の定理を見いだし，それを利用して図形の性質を証明することができる。 ・直径と円周角の定理を見いだし，具体的な場面で活用することができる。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知る。 【内容】 ・１つの弧に対する円周角の大きさが一定であることの証明について考える。 ・円周角の定理を確認する。 ・円周角の定理を利用して，角の大きさを求める。 ・円周角と弧の定理を利用して，図形の性質を考察する。 ・直径と円周角の定理を確認する。 ・直径と円周角の定理を利用して，角の大きさを求める。 ・直径と円周角の定理を具体的な場面で活用する。 ・円周角の定理の逆が成り立つかどうかを調べる。	 ● ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ● ●	【知】 ○円周角と中心角の関係の意味を理解し，それが証明できることを知っている。 ○円周角の定理を利用して，角の大きさを求めることができる。 ○直径と円周角の定理を利用して，角の大きさを求めることができる。 ○円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 ○円周角の定理の逆を利用して，4点が１つの円周上にあるかどうかを判断することができる。 【思】 ○円周角と弧の定理を利用して，図形の性質を証明することができる。 ○円周角の定理の逆を利用して，図形の性質を証明することができる。 【態】 ○円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査

	12月	3	２節　円周角の定理の利用 ①円周角の定理の利用 数学のまど	【目標】 ・円周角の定理を利用して，円外の1点からの接線を作図する方法を考えることができる。 ・円周角の定理を利用して，図形の性質を見いだし，証明することができる。 【内容】 ・円外の1点からの接線を作図する方法を考える。 ・円外の1点からの接線を作図する。 ・円と交わる直線でできる図形の中に，相似な図形を見つけ，相似であることを証明する。	 ●	 ●	 ●	【知】 ○円外の1点からの接線の作図方法を理解し，作図することができる。 ○円外の1点からの接線の性質を理解している。 【思】 ○円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○円周角の定理を利用して，図形の性質を見いだし，証明することができる。 【態】 ○円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って，検討しようとしている。
		1 -	**章の問題A** **章の問題B**					★問題集・小テスト・定期考査
		4	７章　三平方の定理を活用しよう[三平方の定理] １節　三平方の定理 ①三平方の定理 ②三平方の定理の逆 基本の問題 数学のまど	【目標】 ・三平方の定理の意味を理解し，それが証明できることを知る。 ・三平方の定理の逆が成り立つことを知る。 【内容】 ・直角三角形の3辺の長さの間に成り立つ関係を証明する。 ・三平方の定理を確認する。 ・三平方の定理を利用して，直角三角形の辺の長さを求める。 ・三平方の定理の逆が成り立つかどうかを考える。 ・三平方の定理の逆を確認する。 ・三平方の定理の逆を利用して，三角形が直角三角形であるかどうかを考える。	 ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ●	【知】 ○三平方の定理を利用して，直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三平方の定理の逆を利用して，三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。 【思】 ○直角三角形の各辺を1辺とする3つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。 ○三平方の定理を証明することができる。 【態】 ○三平方の定理を見いだそうとしている。 ★問題集・小テスト・定期考査
	1月	8	２節　三平方の定理の利用 ①三平方の定理の利用 数学のまど 深い学びのページ ②いろいろな問題 基本の問題 数学のまど	【目標】 ・三平方の定理を利用して，正方形の対角線や正三角形の高さなどを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して，平面図形のいろいろな長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して，空間図形のいろいろな長さを求めることができる。 ・身のまわりの問題を，三平方の定理を利用して解決することができる。 【内容】 ・三平方の定理を利用して，2点間の距離や，円と球における線分の長さを求める。 ・三平方の定理を利用して，直方体の対角線の長さや，円錐，角錐の高さを求める。 ・富士山がどれくらい遠くから見えるかを，地球を球とみてその切り口の円を考え，三平方の定理を利用して求める。 ・直方体に糸をかけるときの最短の長さを，展開図に表して，三平方の定理を利用して求める。 ・円とその接線でできる図形の線分の長さを，三平方の定理やこれまでに学んだ図形の性質を利用して求める。	 ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ●	 ● ● ● ● ● ●	【知】 ○特別な直角三角形を利用して，直角三角形の辺の長さを求めることができる。 【思】 ○身のまわりの問題を，三平方の定理を利用して解決することができる。 ○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 【態】 ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
		1 -	章の問題A 章の問題B					★問題集・小テスト・定期考査

３学期		5	８章　集団全体の傾向を推測しよう １節 標本調査 ①標本調査 ②標本調査の利用	【目標】 ・身のまわりで行われている調査には全数調査と標本調査があることを知り，標本調査の必要性と意味を理解する。 ・標本調査では，標本を無作為に抽出する必要があることを理解する。 ・標本調査を利用して，母集団における割合を推定し，求めたい数量を求めることができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察したり，調査の計画を立てたりすることができる。 【内容】 ・母集団の傾向を推測するためには，標本をどのように取り出せばよいかを考える。 ・無作為に抽出することの意味を知る。 ・無作為に抽出する方法を知る。 ・標本調査を利用して，母集団における割合を推定し，求めたい数量を求める。 ・身のまわりで行われた標本調査の方法や結論について，批判的に考察する。 ・標本調査を実際に行って，母集団の傾向を推測し判断する。	● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	【知】 ○全数調査，標本調査の必要性と意味を理解している。 ○母集団，標本の意味を理解している。 ○標本調査では，標本を無作為に抽出する必要があることを理解している。 ○無作為に抽出する方法を理解し，乱数さいや乱数表，コンピュータを使って，標本を無作為に抽出することができる。 ○標本調査を利用して，母集団における割合を推定し，求めたい数量を求めることができる。 【思】 ○簡単な場合について標本調査を行い，母集団の傾向を推定し判断することができる。 ○標本調査の方法や結果を批判的に考察したり，調査の計画を立てたりすることができる。 【態】 ○標本調査の必要性と意味を考えようとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	２月	1 - 21	章の問題A 章の問題B 予備時間					★問題集・小テスト・定期考査
	３月		数学の自由研究	・パスカルの三角形【発展】 ・瞬間の速さ【発展】 ・容積を最大にするには？【発展】 ・黄金比 ・伊藤忠敬の偉業を知ろう【発展】 ・円周角を動かすと？【発展】 ・三平方の定理のいろいろな証明				